

2024年10月 1日

「特定最賃（光学・レンズ・時計）」関係 労側要求について

【主張】

1. 鉱工業指数（業務用機械器具）

① 鉱工業生産指数（埼玉県・業務用機械工業）2020年=100

（年間比較）23年平均は前年比で「+17.3」となっている。24年（4-6月期）は前年同月比「-21.9」となっており減少傾向であるものの2020年比較では高い水準を維持している。

2024年1-3月期	2024年4-6月期
114.4 (▲49.9)	120.4 (▲21.9)

2022年平均	2023年平均
119.7	137.0 (+17.3)

② 日銀の短観（6月）のDIは「14」前年同月比「+13」と改善傾向を示している。

今後の見通しについては「18」であり、さらなる改善の兆しが見える。

2022/3	2023/3	2024/3	2022/6	2022/9	2023/6	2023/9	2024/6	見通し
16	7	4	14	9	1	-1	14	18

2. 埼玉県地域最低賃金

改正額	現行額	引上げ額	引上げ率
1,078円	1,028円	50円	4.86%

3. 申請事業所の最低賃金協定額の状況

労組名	2023協定額	2024協定額	引上げ額	引き上げ率	適用労働者数
A事業所	-	-	-	-	-
B事業所	-	-	-	-	-
C事業所	-	-	-	-	-
D事業所	-	-	-	-	-
単純平均	1,093円	1,181円	88円	8.05%	計 1,738

4. 申請事業所の今春闘の状況

労組名	引き上げ額	引き上げ率	適用労働者数
A 事業所	-	-	-
B 事業所	-	-	-
C 事業所	-	-	-
D 事業所	-	-	-
単純平均	19,774 円	5.48%	計 1,738

①申請4事業所の今春闘における、平均引き上げ率 5.48% 適用労働者の 51.1%

※単純平均 ; $1,064 \times 5.48\% = 58.3 \text{ 円} \approx 58 \text{ 円}$

【具体的な金額】

今年度の春闘については、物価上昇を含んだ各企業労使の決着だったことを踏まえて、春闘引き上げ率平均の58円の引き上げが必要と考える。